

今年度は、各教室に、これまでの書画カメラに加え、指導者用 PC が常設された。さらに、児童一人当たり1台のタブレットが利用できる環境になった。それによって、「児童が使う ICT」という視点を加えて各教科、領域で実践を重ねてきた。以下の表にその一端をまとめた。

学年	教科	単元名 【ICT 機器】	学習内容、ICT 活用の様子と効果
一年	算数	おおきいかず 【タブレット】	校内にある「おおきいかず」見つけをした。班ごとに分かれて活動し、下駄箱の数やボールの数をかぞえた。その際、タブレットを使ってロッカーやボール整理棚などを撮影し、自分たちの活動を紹介し合った。互いに知らないものを数えていたので、写真を提示することで、相手の活動の様子がよくわかった。
	生活	秋見つけビンゴ 【デジカメ】 【タブレット】	「赤い木」など、秋のものをコマにしたビンゴカードを用いて、そのコマを見つける活動をした。班ごとに活動し、見つけたものをデジカメやタブレットで撮影した。教室では、その写真を投映し、見つけた場所やその特徴などを発表し合った。児童は、教室で初めて使う機器に興味を示し、その扱い方などを真剣に聞き、慎重に扱っていた。冬には同様の活動を行ったが、タブレットの扱いや発表の仕方が格段にうまくなっていた。
三年	国語	もうどう犬のくんれん 【タブレット】	各自が図鑑や本からはたらく犬を選び、その紹介をリーフレットにまとめる活動をした。複製が必要な素材は、図鑑や本の必要なページをタブレット端末で写真に撮り使用した。カラーのまま見やすく、なおかつ拡大や縮小も児童の意思でできるため、見やすいリーフレットができた。
		ローマ字 【パソコン】	ローマ字表記について学習した後、パソコン入力をした。パソコンの基本的な部分や操作の名称（液晶、キーボード、タッチパッド、クリック、ダブルクリック）やパソコン使用の留意点について確認した後、2人1台でパソコン、ワードを立ち上げ、自分の名前のひらがな入力をした。パソコンを使ったことがあっても、基本的な部分や操作の名称やパソコン使用の留意点について正確に理解している児童はほぼいなかったため、パソコンについて理解する学習の導入としては適切であったと思う。

		<p>人をつつむ形 ー世界の家めぐり</p> <p>【タブレット】</p>	<p>児童が一人1台のタブレット端末を用い、マップアプリで家がある国の位置を確認した。</p> <p>また、各自が世界の家について書いてある本のページから、情報を読み取って、紙媒体の表にまとめる活動をした。ロイロノート・スクールの「国語科」内に、「人をつつむ形」のフォルダを作成し、指導者が写真データとして本のページを撮影し、国ごとにデータ名をつけておいた。児童は一人一台のタブレット端末から、ロイロノート・スクールより、画像データにアクセスした。画像データには、「土地のとくちょう」「人々のくらし」はオレンジ色、「ざいりょう」「家のつくり」は緑色で画面上の線を引き、紙媒体の表にまとめた。一冊しかない本もデータとして児童全員にカラーで配布できることに加えて、画面上で線を引いたり消したりが容易であること、写真データを拡大したり縮小したりできるため、ページ上の絵なども鮮明に確認できることがメリットであった。</p>
	社会	<p>わたしたちの町</p> <p>【タブレット】</p>	<p>町探検に出かける際、3人で1台のタブレット端末を持ち、地域の特徴が分かる写真を撮影した。その後、ロイロノート・スクールを用いて写真に書き込みをした。写真データの配布や回収が容易なため、小学校3年生でも操作しやすく、教員の管理や指導がしやすかった。また、写真データ上で何度でもやり直しができるため、児童の表現力の育成につながった。</p>
		<p>古い道具と昔のくらし</p> <p>【タブレット】</p>	<p>児童の家庭から持ち出した昔の道具を指導者がタブレット端末で撮影し、ロイロノート・スクールの「社会科」内に、「古い道具」のフォルダを作成し、道具ごとにデータ名をつけて保存しておいた。児童に道具を使った体験をさせた後、道具の現物は家庭に持ち帰らせた。次の授業で2人に1台のタブレット端末を配布し、ロイロノート・スクールより、写真データにアクセスし、特に記録に残したい道具のスケッチを行った。道具などの現物が教室で使用できる時間に制限があり、体験の時間と記録の時間を分けてとりたい場合に有効であると感じた。</p>
	総合	<p>パソコン入りに慣れよう</p> <p>【パソコン】</p>	<p>国語科でのパソコン入力学習終了後、NHK for School でタイピングのポイントについての動画を視聴した。「ホームポジションに指をかまえる」「できるだけ画面を見てキーを打つ」などを確認した後、ネット上のタイピング練習ページを紹介した。2時間ごとに少し難易度の高いものに変更し、意欲の継続を図った。ローマ字入力の習熟につながった。</p>
四年	国語	<p>ことわざブックを作ろう</p> <p>【タブレット】</p>	<p>教室で、タブレットを使ってことわざや故事成語の意味や例文を調べ、一冊のブックにまとめた。ローマ字入力が苦手な児童も、回数を重ねるたびに、速く打てるようになった。</p>

社会	県内の特色ある地域 (4年1組) 【パソコン】 【タブレット】	県内の特産品(海士町の岩ガキ・大社町のブドウ・多伎町のイチジク・益田市のメロン)について調べて、全校の人や木次町の人に知ってもらおうというゴールに向けて、ネットや電話で調べ、リーフレットにまとめた。1人が1台のタブレットを使ってネットで調べ、写真はスクリーンショットでタブレット内に保存しておいた。その後、パソコン室のパソコンのキューブキッズ ver.5 を使って、リーフレットにまとめた。リーフレットの間接発表会では、ロイロノートを使って発表した後、画像にアドバイスやいいところを書き込んでやりとりをした。リーフレットにまとめることで、自分たちが調べたことが形になっていくことがうれしく、とても意欲的にまとめていた。
	社会県内の特色ある地域 ～島根県の特産品を紹介しよう～ (4年2組) 【パソコン】 【タブレット】	PCルームのパソコンを使ってネットで調べ、写真はキューブキッズ ver.5 のポケットに保存していった。パソコンのキューブキッズ ver.5 を使って、リーフレットにまとめた。リーフレットの間接発表会では、ロイロノートを使って発表した後、より良いリーフレットにするためにアドバイスやいいところを書き込んでやりとりをした。アドバイスを受けて、さらに手直しをしてリーフレットを完成させた。 リーフレットにまとめるまでに、自分たちにとって必要な情報は何かを考え、大量の情報を取捨選択する力を身に付けることができた。完成したリーフレットを展示し、感想を書いてもらえるとても喜んでいて、最後までモチベーションを下げることなく、子どもたち自らが主体となって学習を進めることができた。
算数	わり算の筆算 【タブレット】	課題を出し、ロイロノートで提出させ、発表させた。ロイロノートの操作は初めてだったが、児童はやり方をすぐに覚えた。
	いろいろなグラフを作ろう 【パソコン】	キューブキッズ ver.5 のグラフ作成機能の練習を行った。地図帳の都道府県別の農業生産高や人口、面積などの数値を入力するだけで、棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、絵グラフなどが作成できる体験を行った。グラフに必要な標題、横軸と縦軸の単位などを簡単に入力できるので、どの児童も喜んで作業することができた。
理科	暖かくなると～寒くなると 【タブレット】	1年間を通して活動した。季節ごとにお気に入りのサクラの木を観察した後、タブレットで撮影、保存し、1年間の変化の様子を記録した。写真で比較することで、より季節の移り変わりを感じる事ができた。
体育	マット運動 【タブレット】	自分の動きをタブレットを使って録画した。スローで再生したのを見ることで、自分で自分の課題を見つけることができ、次への意欲につながった。また、同じ色の友達と一緒に見ることで、友達からアドバイスをしてもらうことができた。
総合	久野川の生き物を調べよう (4年1組) 【タブレット】 【パソコン】	教室で、グループごとに、自分たちが見つけた生き物の特徴を、図鑑やネット(タブレット)で調べた。次に、パソコン教室のパソコンで、グループごとに、キューブキッズのプレゼンで、スリーヒントクイズ形式のプレゼンを作った。使用する写真は、教師がネットから取り込んだ。最後は、教室で、プレゼン発表会をした。初めてなので、

			クイズ形式にしてやる気を高め、発表原稿は紙に書かせた。次回は、個人で写真をネットから選んで取り込んだり、発表原稿まで作ったりして、プレゼンするところまで取り組ませたい。
		久野川の生き物を調べよう (4年2組) 【パソコン】	自分が見つけた生き物の中で、詳しく調べてみたい生き物の一つを選び、図書館の本や図鑑、インターネット(パソコン)で調べた。次に、パソコン教室のパソコンで、キューブキッズのプレゼンシートを作成した。使用する写真は、子ども自身がネットから取り込んだ。最後は、教室のスクリーンを使ってプレゼン発表会をした。初めてではあったが、発表メモもキューブキッズに文章を打ちこみ、それを印刷したものを見ながら発表することができた。 文字入力(ローマ字入力)をする際、個人差が大きかった。キーボードの入力の技能を身に付ける必要があると感じた。今後はタブレットを活用して、検索・写真の取り込み・資料の保存などの技能を身に付けさせたい。
		タブレットの使い方に慣れよう 【タブレット】	ロイロノートを使って「ミッケ」の絵本のページを児童に配信し、クイズを出した後、答えを書き込んで教師に返信する練習を行った。教師が指定した色で書き込んだり、気付いたことを画面に書き込んだりする操作も行った。 また、自分のお気に入りの場所(学校内)を撮影し、自分のフォルダに保存する体験も行った。色を変えて書き込みをしたり、言葉や文章を指で書いたりすることは容易にできるようになった。
		環境学習 【パソコン】	生ごみ堆肥の作り方についての調べ学習をした。指導者が指定したサイトの中から調べさせたので、調べてほしいことをきちんと調べることができた。
		二分の一成人式 【パソコン】	式で使用するゲームのワークシートやみんなで歌う歌の歌詞カードをキューブキッズ ver.5 の新聞シートを活用して作成した。文字の入力の技能が高まった。
五年	国語	平家物語 【タブレット】	平家物語の学習を行うとき、実際に琵琶の演奏と共に平家物語を歌っている動画を教員が探し、Youtube から使用した。児童の意欲が高まった。
	社会	自動車を作る工業 【タブレット】 【パソコン】	自動車を作る工業について4つの内容にわかれ、班ごとに調べ学習を行った。教科書、資料集、インターネット(パソコン・タブレット)などを使い調べた。最後は班ごとにロイロノートや画用紙にまとめ全体の前で発表した。児童が自主的に学んだので「勉強した」という気持ちになった。
	理科	天気の変化 【パソコン】	天気の変化についての調べ学習で、コンピューター室で雲の様子や動きについてパソコンを使って調べた。自分で調べたい日にちの動画を見ることで意欲的に取り組むことができた。

		台風と天気の変化 【パソコン】	今年日本に近づいた台風を気象庁のサイトを使って自分たちで調べ、だいたいの動きを記録した。児童は、教師が提示して行うよりも主体的に取り組んだ。
		もののとけかた 【タブレット】	とけた様子を写真に残し、記録しやすいようにした。とけかたの変化を共有するために、変化を表したグラフをロイロノートに写真で取り込み、児童に気づいたことを書かせた。それを提出させ、スクリーンで共有した。友だちの考えを見ることで新たな考えに気づいた児童もいた。
	総合	郷土食を調べよう 【タブレット】	郷土食について調べる際に、校外でのインタビューでタブレットを使って写真を撮る、インタビューの様子を録画、録音するなどの機能を活用した。録音を再度ながすことで聞き取れなかったことを資料に生かすことができた。 発表するときインタビューで撮った写真を見せながら発表したことで模造紙に貼りきれない写真を使うことができた。
六年	国語	町の幸福論 【タブレット】	自分の住んでいる地区の未来について、ロイロノートやキーノートでプレゼン資料を作った。アプリ「グーグルアース」のストリートビュー機能を利用することで、木次町でより良くしたいところを明確にもつことができた。
	社会	新しい日本、平和な日本へ 【タブレット】	内容：ロイロノートを使って資料を送付→資料を見て気づいたことを書きこむ→回収→比較・まとめる 効果：資料に書き込むことで自分の気づきを整理することができた。児童の気づきを集約して、まとめることで、児童の言葉を生かしたまとめができた。
	算数	比例をくわしく調べよう 【タブレット】	内容：ロイロノートを使ってグラフを送付（目盛りがとても細かい）→グラフに書き込む→回収→比較・まとめる 効果：児童がグラフを拡大して書くことができる。 （支援の必要な児童には特に効果的）
		量の単位のしくみを調べよう （単位計算尺をつくろう） 【タブレット】	内容：作業の様子（画像）をロイロノートで児童全員に送る→画像を見ながら、順を追って作成する。 効果：言葉だけでは分からない部分が視覚的に分かる。 自分の力で、順を追って、成果物をつくることことができる。
	総合	夢に向かって進もうプロジェクト 【タブレット】	仕事の魅力や小学生の今やっておくべきことを、ロイロノートでプレゼン資料を作り、斐伊小学校6年生にプレゼンテーションをした。ロイロノートを確認することで、自分が収集した資料を整理・分析したり、自分の想いを伝えるための工夫をしたりすることができた。
八組	自立活動	きょうりゅうじてん 【タブレット】	ロイロノートで事典を作り、交流学級で発表した。児童は、発表する意欲と作成の見通しをもって取り組んでいた。ひらがなについては、手書きより早く入力できたので、仕上がりに満足していた。

	<p>国語</p> <p>おもいでして かこう</p> <p>【タブレット】</p>	<p>遠足に行ったことを題材にした作文を書いた。その際、タブレットに写して置いた写真を児童が選び、その写真について詳しく作文に表した。児童は写真をタップしながら、そのシーンを回想し、楽しそうに話していた。タブレットを使ったことによって、その様子がより鮮明になって、詳細な作文を書くことができた。</p>
--	--	---

児童が使える ICT 機器が増えたことで、機器の起動、終了、撮影、入力、検索といった基本的な技能を習熟しやすくなった。また、プレゼンをしたりリーフレットを作ったりするなど目的や相手意識をもたせた取組も多くなり、授業の可能性が広がってきた。しかし、現時点ではまだ導入された機器やアプリなどを試行している段階と言える。今後、試行錯誤しながらも効果的な実践事例を残していくボトムアップの方向



6年・総合 斐伊小学校6年生に自分の夢を発表する。

と情報モラルも含めた系統的な ICT カリキュラムを編成して取り組むトップダウンの方向から本校の ICT 活用能力を高めていきたいと考える。



5年・総合 郷土食について取材する。



4年・社会 県内の特色ある地域のデータを手にする。



3年・国語 世界の家のデータに書き込みをする。



1年・生活科 秋らしいものを見つけて写真を撮る。